

市指定史跡  
の  
野嵩

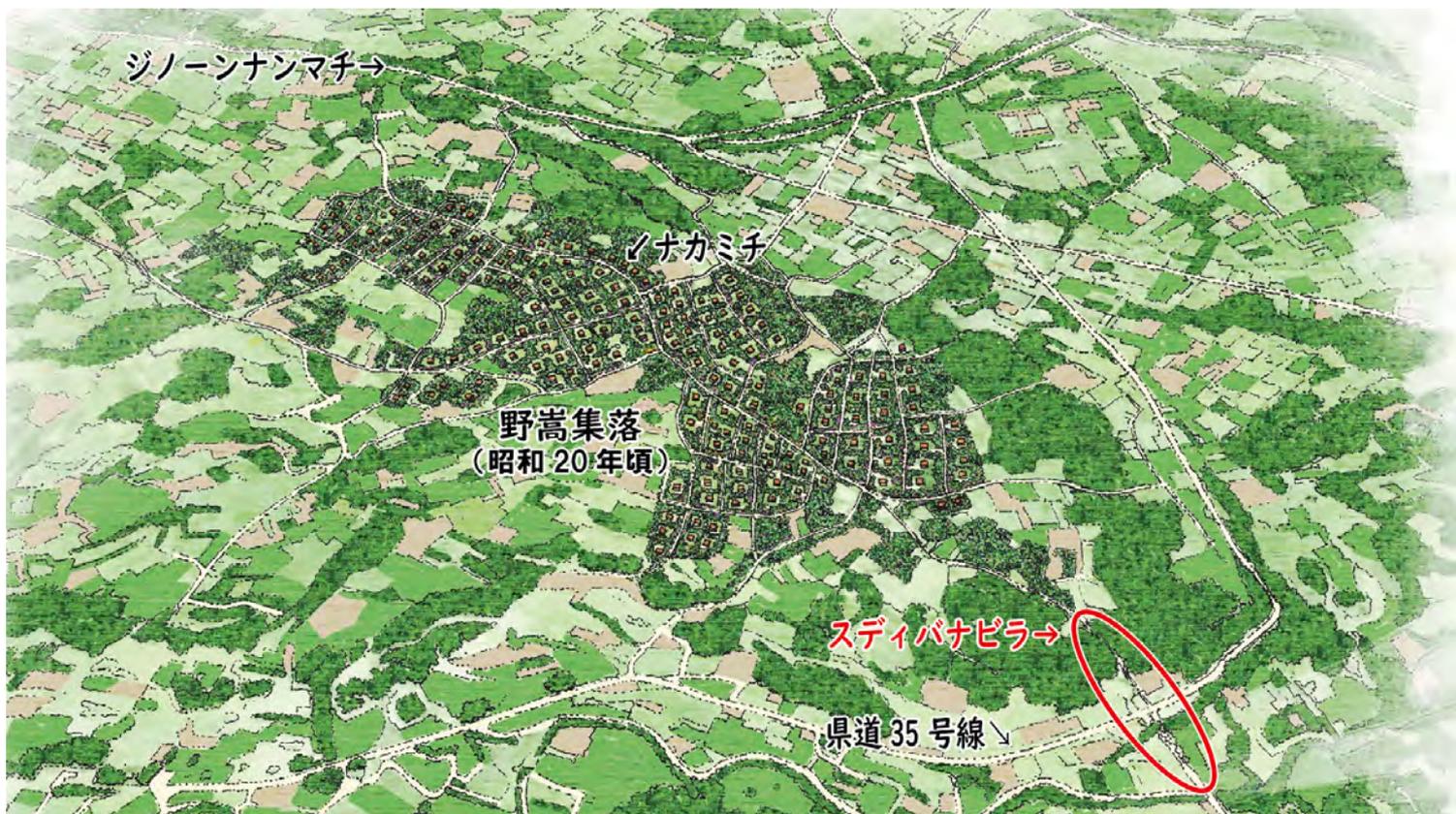
# スディバナビラ 石畳道

## 文化講座

2024年10月19日



第4回講座 「スディバナビラの技術と環境」  
**多田 弘** (HIFUMI合同会社 代表)



MEMO

中城城跡→

登又は田畑が広がっており、住宅は殆どなかった

✓ 県道東側の石畳は坂上からは見えない

県道

畑

✓ 斜面

斜面↘

✓ 斜面にはグミや野イチゴが自生しており、赤い実が散見された。

✓ オーダーを担いで登又はの畑などから野菜や家畜の餌などを採ってきた

斜面↘

斜面の下（現GS）には、屋号「川の下屋良小」が管理する茅毛があった。

↑ 草履を履いていた

↑ 平坦地

↑ 斜面

斜面→

斜面↑

筋道→  
平坦地

石畳は整然と敷かれていたが、県道東側ほどキレイではなかった。

この辺りには現在お墓がある

石畳道の両側にはソテツが生えていた

赤土が露出する

石畳の隙間には小石や芝（雑草？）が生えていた

石畳は坂を下りるにつれてだんだん小さくなった

松林  
ススキも生える

この辺りに大きな岩→

松林  
ススキも生える

↑ 集落側の最初石畳は、大きな石が使われていた。岩盤をそのまま利用？

アカハギモ→

↓ 手前側が野嵩集落

赤土が露出する



松林  
間にススキも生えていた

↓石量は  
この辺りから

松林

↑穴のある大きな岩  
この上には芝があり、休憩できた。

赤土

このソテツは令和5年5月現在→  
現存している

←筋道  
平坦地

斜面↘

石畳道の両側には  
ソテツが生えていた

↓斜面

↓斜面

斜面には、グミや野イチゴが生え→

平坦地

↙斜面

斜面↓

茅毛

斜面↘

手ぬぐいを頭に巻いた女性↘  
大人は着物を着ている方も多かった。

←カズラが付いたままのイモ。  
カズラはブタの玉糞した。

↑県道開通後、坂下の石畳道は大雨が降ると崩れたため、  
そのたびに石畳を並べ直していた。そのため、この辺りの  
石畳は隙間が多く、整然と並んではなかった。

畑

石畳道の両側は、土が露出した  
段差になっていた。

↑県道は石畳道を削って開通したため、段差があった。  
上り易いよう、石灰岩の礫を積んでいた。

県道はイングレーで舗装されており、現在よりも道幅は狭かった（現在の2/3くらい）。  
1980年代前半頃に拡幅工事が行われた。